

2024 年 10 月 15 日

2024 年度第 3 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2024 年度第 3 四半期決算を発表しました。

第 3 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、2023 年度第 3 四半期における 78 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.90 ドル)に対し、69 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.81 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、178 百万ドル増加して 253 億ドル(FTE ベースで 255 億ドル)となりました。これは、資産管理手数料及び投資銀行事業手数料の増加、販売及びトレーディング収益の増加並びに純受取利息の減少を反映しています。
 - 純受取利息は、140 億ドル(FTE ベースで 141 億ドル)となりました。
 - 預金コストの上昇が資産利回りの上昇及び貸出金の増加を上回ったため、2023 年度第 3 四半期から 3%減少しました。
 - 固定利付資産の金利更改が一因となり、2024 年度第 2 四半期から 2%増加しました(預金コストの上昇により一部減殺されました。)
- 貸倒引当金繰入額は、2024 年度第 2 四半期からは横ばいで、2023 年度第 3 四半期の 12 億ドルからは増加して、15 億ドルとなりました。
 - 貸倒償却(純額)は、2024 年度第 2 四半期からは横ばいで、2023 年度第 3 四半期の 931 百万ドルからは増加して、15 億ドルとなりました。
 - 2023 年度第 3 四半期においては 303 百万ドルの引当金の積増し(純額)、2024 年度第 2 四半期においては 25 百万ドルの引当金の取崩し(純額)であったのに対し、8 百万ドルの引当金の積増し(純額)となりました。
- 非金利費用は、主として収益に関連する費用及びフランチャイズへの投資に起因し、4%増加して 165 億ドルとなりました。
- バランスシートは引続き堅調
 - 平均預金残高は、2%増加して、1.92 兆ドルとなりました。
 - 平均貸出金及びリース金融残高は、1%増加して、1.06 兆ドルとなりました。

- 平均グローバル流動資金は、9,470 億ドルとなりました。
 - 普通株式等 Tier1 (CET1) 資本は、2024 年度第 2 四半期から 20 億ドル増加して、2,000 億ドルとなりました。
 - CET1 比率は、11.8%(標準的アプローチ)となり、2024 年 10 月 1 日から適用された新たな最低所要自己資本比率を 112 ベーシス・ポイント上回りました。
 - 20 億ドルの普通株式配当及び 35 億ドルの株式の買戻しにより、株主に対して 56 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、8%増加して 35.37ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、10%増加して 26.25ドルとなりました。
 - 平均普通株主持分利益率は、9.4%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、12.8%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。